

山ぼうし

第21号 平成18年12月21日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、

花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし

の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



新しい希望の年に向かって

校長 及川 敏 昭

早いもので、今年も残りわずかとなりました。地球温暖化の影響でしょうか、今年は何れも例年になく温かい冬をむかえております。今年も様々なことがありましたが、生徒諸君の活躍や取り組みが高く評価をされ総りに満ちた1年ではなかったでしょうか。

しかし残念なことに関西方面に修学旅行に行った2年生69名の生徒と引率職員2名が突然腹痛や下痢の症状を訴え救急車で大阪市内の5つの病院に搬送され治療を受けたというという集団食中毒が発生しました。

幸にも全員命には別状は無く、症状が比較的重くて治療のために大阪の宿泊施設に残っていた生徒も14日（木）までに全員帰校いたしました。現在は帰校後、数名の生徒が治療の為に学校を休んでおりますが、症状も回復に向かっているということで安心をしているところです。

奈良県生活衛生課の発表では原因は法隆寺の食堂での食事が原因のノロウイルスによる食中毒と断定したとのことでしたが、テレビや新聞等で連日報道をされ県民や地域の方々そして保護者の皆様方には大変な心配をおかけしたと思っています。また、高校生活での楽しい思い出になるはずであった修学旅行がこのような形になって本当に残念だったなと思っています。学校としても2次感染予防に万全を期し、

そしてこの教訓を生かしていきたいと考えております。

さて、いよいよ明日より1月の11日（木）まで、学校は冬季休業になります。数えてみましたら土曜、日曜を入れると21日間ありました。普段こんなに長く休めるのは人生の中ではあまりありません。貴重な冬休みですので、それぞれ有意義にそして充実した日々を過ごして欲しいと思います。

特に3年生は高校生活最後の冬休みです。この長い冬休み期間中、自分はどんな過ごし方をして何をしなければならぬのか、よく考えながら一日一日を大切に過ごして下さい。

また、この冬季休業は、1年の終りと新しい年の始めという1年間の区切り、節目の休みです。是非この期間に自分が過ごしたこの1年を静かに振り返り、自分はどれくらい成長したのか、自分は目標に向けて一生懸命に努力したのだろうか、何か足りなかったことは無かったのだろうかということをはっきりさせて、新しい年への目標にしっかりとつなげてほしいと思います。

冬休み明けの1月12日（金）には、全員が事故も怪我もなく心身ともに大きく成長し、新た決意と充実感みなぎらせて元気に登校してくることを祈っております。

1月行事予定

1月12日（金）	授業始め式、休み明け試験
1月18日（木）	服装・頭髪検査
1月23日（火）	情報技術検定
1月24日（水）	推薦入学試験
1月25日（木）	大掃除
1月26日（金）	数学検定、英語検定

修学旅行記



2学年は、12月9日(土)から13日(水)の期間、4泊5日の日程で京都・奈良・大阪へ修学旅行へ行ってきた。1日目、一行は8時にバスで宮古を出発し、盛岡からは新幹線に乗り換え、1日かけて京都に到着した。到着時の天候は生憎の雨でその日予定していた外出も、2日目に延期されたが、旅館内で友達と楽しく過ごしていた。

2日目は前日の雨が嘘のように晴れ渡り、空には虹も見えた。まず、一行は清水寺を見学した。清水寺は紅葉が残り、空の日差しに葉の色が映えて見えた。清水の舞台で有名な本堂を見学し、木造建築技術の規模の大きさに驚いた。ここの見学後は班ごとの自主研修に別れた。

金閣寺などを見学し、思い思いに立てた計画で京都を散策した。

3日目、一行は奈良へ移動し、奈良公園を見学した。いきなりの鹿のお出迎えに初めは戸惑ったが、公園を進むにつれて、中には鹿せんべい片手に思わず戯れてしまう者もいた。東大寺では大仏を見たり、大仏殿の柱をくぐったり、金剛力士像とか…見た物が多すぎていくつ覚えていることやら。奈良公園を後にした一行は法隆寺を見学した。五重塔などここでも数多くの国宝を見学し、最後に薬師寺へと向かった。ここでは、僧侶による説法を拝聴した。リズムカルで小気味よい話に皆、引き込まれた。3日目も終わり、この日から大阪の宿に移った。広いロビーに圧倒され、新しく立派な建物に大喜びだった。

4日目は、お待ちかねのUSJ(ユニバーサルスタジオジャパン)だったが、天候は雨。とはいえ、アトラクションの多くは屋内にあるため、雨でも十分楽しめるテーマパークだった。人気No.1はスパイダーマン。立体映像と乗り物の組み合わせが絶妙なアトラクションであった。昼頃には雨も上がり、夕方には夕日も顔を覗かせた。USJではクリスマスカラー一色で、大きなクリスマスツリーが一際目を引いた。ここでの1日はあっという間に過ぎ、抱えきれないほどのおみやげを手にして、一行はUSJを後にした。

USJの帰り頃から、不調を訴える生徒が見られるようになり、宿舎に着いてから次第にその数が増えていった。これまで楽しかった修学旅行もこの事件を境に一変した。中には、入院してしまい、帰りが1日遅れてしまった生徒もいたが、重症者が出なかったのは不幸中の幸いであった。最後の最後に後味の悪い旅行になってしまったが、生徒達が、楽しかったことも辛かったことも合わせて、いい思い出として語れる旅行であって欲しいと願う。



修学旅行団ノロウィルスに感染!

修学旅行団は、4日目の12月12日夕方から体調崩す者が続発し、タクシー等で通院していた。吐いたり、腹痛や下痢・発熱を伴い、食中毒的な症状であった。元気な生徒たちの協力を得て保健室を設置するなどしたが、対応しきれず、救急車に出動を依頼することとなった。結局朝までに60名近い生徒が10ヶ所の病院に搬送された。

宿泊先のロッジ舞洲は、携帯電話がつながりにくく、電話連絡も難しく、特にもマスコミの取材でホテルの電話はパンク状態であったという。学校とも思うように連絡が取れないため、状況把握ができず、保護者への連絡が遅れてしまい、生徒や保護者に不安を与えてしまった。学校でも朝になって初めておおよその状態を把握した。

13日朝8時過ぎに、不調者を除く生徒87

名が予定通り帰路についた。途中盛岡で保健所の方から感染予防の指導を受けるなどして宮古に帰り着いた。一方、応援として急遽教員1名が大阪に派遣され、計4名の教員で対応した。大阪に残った生徒37名は、翌14日に何とか全員帰路についたが、中には出発直前まで入院しており、病院から直接新大阪駅に向かった生徒もいた。様々な配慮や協力を頂きながら、宮古には夜10時過ぎに到着した。

15日には、奈良の昼食が原因のノロウィルスによる食中毒と判明した。宮古に帰ってきてから発症する者もあり、学校では2次感染防止に努めている。現段階で生徒81名と教員3名が発症が確認されている。

なにはともあれ、大事に至らず全員が帰ってこられたことを喜ぶたい。